

「Delivery Kodaira (デリバリーこだいら)」は、市の取り組みや暮らしに役立つ情報などについて市の職員が出向いて説明をしてくれるもので、市内在住・通勤・通学している団体やグループ（自治会やPTAなども含む）で申し込めます。平成13年12月から始まり、講座メニューは、環境、健康・福祉、産業・まちづくり、子育て・教育・文化などととても多彩で、当初より増えて現在は61件。昨年度は35回開催し、最も要望が多かったのが「家庭と地域における地震対策」だったそうです。

実際に利用したことのある団体に体験談を寄せてもらいました。

小平・環境の会は、今年2月18日、出前講座を利用して、「知っていますか？ 私たちのまちの「ごみ処理施設」が次々に新設・建て替えされます」と銘打った企画を中央公民館で開催しました。市民がほとんど知らないうちに、行政主導でハコモノごみ行政が進んでしまっている現状に危機感を抱いたからです。周知の時間が少なく参加者は24名でしたが、市議会議員の方が何人も参加され、市政にとって重要な問題であることをわかっていただけたかと思えます。講師は小平・村山・大和衛生組合（中島町）にお願いしました。二人の担当者がまずパワーポイントを使って約1時間説明をし、その後丁寧に質問に答えてくれました。「資源化に取り組み、3市のごみ分別の基準を統一したい、発電もする。」という積極的な姿勢が見えた反面、小平市の方針に異議を唱えにくいという、一部事務組合特有の四すくみなシステムの問題も垣間見えました。「こういう機会をどんどん作ってほしい」とのことですから、身近なごみの問題を知るために、市内各所で出前講座が活用されるとよいと思います。

(NPO法人小平・環境の会 深澤洋子)

「市民プラザこだいら」は6年前から月1回の定例会を開催し、地域やコミュニティー、市民活動といった身近な問題を中心に意見交換や情報交換を行ってきていますが、その中で「出前講座」を年1、2回ぐらい利用しています。「出前講座」はメニューも60以上と沢山あり、日程的にも柔軟に対応して講師を派遣してくれるなど、市民から見て市政についての正確な基礎知識を得るうえで「使い勝手」の良い制度だと感じています。

講座で自分たちが特に聞きたい点、知りたい点をあらかじめ具体的に講師側に伝えておくことにより、講座をより有意義なものにすることもできると思いますし、市が用意した内容以外でも関連した分野での質問等は受けてもらえるなど、公・民ともに成長が期待できるいい制度だと思います。

市民と行政との相互理解が深まるのは大変いいことですし、その基盤の上にこそいい「協働」が生まれるように思います。メニューも年度ごとに見直し・改訂が行われているようであり、今後ますます市民の利用が増えていくことが望ましいと考えています。

(市民プラザこだいら 中山光弘)

7月3日(日)、上記「市民プラザこだいら」で出前講座を利用するというので参加してみました。『住み慣れた小平で、いきいきと笑顔で暮らせる地域社会をめざして～介護予防のこと、在宅医療のこと～』というタイトルで、市の高齢者支援課と地域包括支援センターの職員から介護予防とセンターの説明を受けました。地域包括支援センターのことも介護の仕組みも、当事者にならないとなかなかわかりづらい事柄ですが、概要を聞いて少し敷居が低くなったような気がしました。後半の質疑応答では、行政が気づかなかった市民目線の意見や提案も出されました。「医療と介護を地域で」という国の方向性に沿って小平でもさまざまな事業・講座や仕組みを考えているようですが、検討段階から地域住民を入れ、その意見を反映させると、それらがもっと活かしたものになるのではないかと思います。この「出前講座」は、市政についての理解を深めてもらうものであって苦情や要望を聞く場ではありませんが、講座を提供する市にとっても利用する市民活動団体にとっても、“より住み良いまちをつくる”という同じ目的に向かって進む上で、存分に活用したい取り組みだと感じました。(田原)

「デリバリーこだいら」の利用方法

●開催時間：平日 9:00～21:00、土日祝 9:00～17:00
(1回あたり90分以内)

●会場：主催側で用意 ●費用：無料
(申込手順)

①講座メニューから選択し、希望日の1ヶ月前までに秘書広報課へ申込書を提出(申込書は市のホームページからダウンロードできます) ②担当課と日時などを調整、会場を手配 ③講座開催

*詳細は小平市企画政策部秘書広報課へお問い合わせ下さい。☎042-346-9505 FAX 042-346-9507

E-mail: hisyokoho@city.kodaira.lg.jp